

RTCバッテリーに関するお知らせ

この度、MOBOTIXから、カメラ内部バッテリー(RTCバッテリー)に関しまして、製品仕様の連絡がございましたので、お知らせいたします。

MOBOTIX カメラの内部バッテリーは、完全に充電することで、最大200日間分の充電がされますが、十分な充電がなされていない場合には、カメラの時刻が正確に保持されないことがあります。

MOBOTIXの製造プロセスにおいては、24時間程の充電を行っており、バッテリーを最大まで充電しておりません。これにより、約30~60日間分（生産開始時のバッテリーの状態に応じて変動）の充電が行われます。

時折、カメラのシステムメッセージでは、少なくとも3時間充電するよう、メッセージが表示されますが、これは、カメラの良好状態を認識するために必要なバッテリー量を充電するのに十分な時間です。

カメラは、RTCバッテリーの放電をチェックしており、カメラ内部のクロックと合致しない場合に、エマージェンシーモードを出力します。また、フル充電になった場合でも、カメラのクロックがその時点で時刻と合致していない場合には、エマージェンシーモードの出力を継続します。そのため、3時間以上の充電後に日付を再設定することが非常に重要となります。

購入直後のカメラ使用時のRTCバッテリーの充電状況による不具合を解消するには、カメラ設置前の充電が必要です。

以下、事例による対処法を記します。

対処法：

太陽光発電などの自然エネルギーを利用した電源供給で、常にカメラに電源が供給されない状態が起こりうる環境においては注意が必要です。そのような環境下に設置する場合は事前に下記のセットアップを行ってください。：

1. 完全な充電サイクルを実行するために、カメラを主電源から電力を供給するPOEスイッチに接続します。
2. 少なくとも24時間通電状態を保ってください。
3. 最低24時間経過後、設定している場合はすべてのNTPサーバーを無効にします。
4. カメラの時刻と日付を設定します。
Admin Menu>時刻と日付（手動で時刻と日付を設定）>設定>閉じる>OK
5. カメラパッチケーブルを物理的に外し、再接続します。
6. カメラ通電後、Admin Menu> System Messages ページ下部でブートサイクルメッセージのシステムメッセージを確認し、赤字のハードウェアクロックのエラーが発生しているかどうかを確認します。エラーが発生していなければ、初期充電プロセスが正常に実行されます。

RTCバッテリーを完全に充電するには、カメラを同じスイッチに接続したままにしてください。

完全充電サイクルの後、カメラを太陽光発電などの自然エネルギーによる電源供給に移行できます。

その際に、6のエラーが発生していないこと、エマージェンシーモードが解消されていることを確認してください。

以上